



I—太陽と月 (京都に於る値)

日附	日出	日没	(星座)	日附	月齡 (正午)	日出	月没	(星座)
	時分	時分		日	日	時分	時分	
1	6:28	17:52	(みづがめ)	1	17.8	21:47	7:59	(乙女)
6	6:21	17:56	"	2	18.8	22:43	8:31	"
11	6:15	18:1	(うを)	3	19.8	23:39	9:7	(天秤)
16	6:8	18:5	"	4	20.8	—	9:46	"
21	6:0	18:10	"	5	21.8	0:23	10:30	(蠍)
26	5:52	18:14	"	6	22.8	1:25	11:19	(蛇造)
31	5:45	18:18	"	7	23.8	2:13	12:13	(射手座)
				8	24.8	2:58	13:12	"
				9	25.8	3:39	14:13	(山羊)
				10	26.8	4:16	15:17	"
				11	27.8	4:51	16:23	(水瓶)
				12	28.8	5:25	17:30	"
				13	0.3	5:59	18:39	(魚)
				14	1.3	6:34	19:49	"
				15	2.3	7:11	21:00	"
				16	3.3	7:53	22:11	(羊)
				17	4.3	8:39	23:20	"
				18	5.3	9:32	—	(牛)
				19	6.3	10:31	0:24	"
				20	7.3	11:33	1:21	(雙子)
				21	8.3	12:37	2:00	"
				22	9.3	13:41	2:52	(蟹)
				23	10.3	14:44	3:29	"
				24	11.3	15:44	4:2	(獅子)
				25	12.3	16:44	4:33	"
				26	13.3	17:42	5:2	"
				27	14.3	18:40	5:31	(乙女)
				28	15.3	19:37	6:00	"
				29	16.3	20:34	6:32	"
				30	17.3	21:30	7:6	(天秤)
				31	18.3	22:25	7:44	"

II—天象

日	時	天象
4	8	火星が月と合(北3°)
8	18	木星が月と合(南3°)
12	13	水星が月と合(南8°)
13	1	金星が最大光輝
13	15	土星が月と合(南8°)
15	23	金星が月と合(北2°)
16	15	土星が會合
25	15	水星が外合
27	9	金星が停留

下弦 5日, 18時:17分
上弦 19日, 20時:46分

新月 13日, 4時:32分
満月 27日, 8時:12分

主な流星群

日附	赤緯	赤緯	附近の星	性質
1日—4日	166°	+5°	獅子座 γ	緩
15日	250	+54	龍座 η	速
18日	316	+78	ケフェウス座 β	緩

遊 星 界	(3 月)
-------	---------

水星 山羊座の東部から順行を続け、春分點をこえて魚座に入る。上旬に日出前の東天に見える光度-0.2等星。25日には外合となるから、觀望の許されるのは月はじめのわづかの期間。

金星 先月に最大離角をすぎ、宵の明と星して全天に君臨する。高度は幾らか低くなり、13日に本年第1回の最大光輝-4.3等に達す。今や觀望の絶好期。位置は魚座から羊座へ。

火星 夜半を待たないで東南天に上つて来るやうになつた。位置は天秤座から蝸座へ。光度も急に増加し、+0.4等から月末には-0.4等で、22時を少し過ぎると見える。〔火星の敵〕と呼ばれるアンタレス星と近いので面白い。

火星の方が西北にある。距離は1天文單位以内に近づいてゐる。表面觀察者は既にそのプログラムを遂行してゐる。

木星 曉の星、初夏まで待ちたい。射手座にあつて、-1.6等星。

土星 16日が太陽と會合。當分の間全く觀望不能。

天王星 羊座にある宵の星。光度6.2等。

海王星 獅子座にあり、8日に對衝の位置になり、觀望の好期ではあるが、光度7.7等で、小望遠鏡でもあまり面白くない。12日の位置は赤經11時15.7分、赤緯北5度57分。

冥王星 蟹座の西端にあり、光度15等級。地球からの距離40天文單位に近く、約58億キロ。光が5時間半で達す。そんなに遠くありませんね。

× × × ×

星座 プレヤデスを西に送ると、さすがの厳しかつた冬も一陽來復で、銀河の中に大犬、小犬の諸星座は見えてゐても、雙子座では殆んど寒く感じない。北斗の雄大な姿が隨一で、地上の花は春の天上にはなくて、寧ろさびしい。大きい星のある星座のみに親しんではならない。見るべきものに麒麟、山猫、蟹、小獅子、一角獸、六分儀、コヅブ等の諸星座がある。南天低い1等星カノープスを見のがした諸君は〔今からでも遅くない〕から注意されたい。

(淡翠山人)